

施 政 概 要

(案)

令和6年第2回(6月)市議会定例会

四 街 道 市

予定事項等が含まれていることや、5月30日時点の内容であることから、今後の状況により、内容を変更する場合があります。

【はじめに】

本日、ここに、令和6年第2回四街道市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご参集をいただき、誠にありがとうございます。

本定例会に提案いたしました案件につきましては、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

それでは、施政の概要について申し上げます。

はじめに、本市の直面する重要事項及び懸案事項への取組について申し上げます。

本市の最上位の計画である総合計画については、本年第1回定例会において可決いただき、本年度より新たなまちづくりがスタートしました。

新たな基本構想の下、市民に寄り添い、四街道らしさをさらに磨き上げていくため、「幸せつなぐ 未来への道しるべ -Yotsukaido Happy Road-」が示す、4つのまちづくりの道を歩み、諸施策を計画的かつ効果的に展開し、笑顔と笑顔をつないでまいりたいと考えておりますので、議員各位におかれましては、引き続き、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

今後は、新たな総合計画の方向性を市民の皆様と共有し、ともに行動していくため、分かりやすく、見やすいように工夫した概要版を作成し、市内全戸に配布するための準備を進めてまいります。

市庁舎整備については、8月の第1期工事の完了に向け、現在、内装工事、空調設備工事、受変電設備工事などを行うとともに、庁内各課から移転担当職員を選出するなど10月15日の供用開始に向け、準備を進めています。

また、未来を担う子どもたちが、見て、聞いて学び、ものづくりに興味を持つことで、将来の夢や職業選択の幅を広げてもらうことを目的に、市内の小学生とその保護者を対象に6月8日に開催する新庁舎建設現場見学ツアーの参加者を募集し、決定したところです。

次期ごみ処理施設については、絞り込んだ3つのパターンのうち、「広域化整備」に関して、3月22日付けで、八街市と「ごみ処理の広域化の可能性の検討に関する覚書」を締結しました。今後は、覚書に基づき、共同でのごみ処理施設の建設及び運営の可能性について検討を進め、最終的な方向性を判断してまいります。

雇用の創出については、産業用地適地調査において、候補地となり得る土地の利用上の制約などを確認するとともに、候補地の活用について民間事業者へヒアリング調査を行うなど選定に向けた作業を進めています。

都市計画道路の整備については、3・3・1号山梨白井線第2工区の概略修正設計に係る契約手続を進めています。

次に、国の経済対策に基づく、給付金・定額減税一体措置について申し上げます。

6年度税制改正に基づく、所得税及び個人住民税の定額減税については、6年度分個人住民税の定額減税に向けた作業を進めています。

併せて、定額減税しきれないと見込まれる方に対する定額減税調整給付金及び6年度新たに住民税非課税又は住民税均等割のみ課税となった世帯に対する低所得者世帯支援給付金について、迅速に給付するための準備を進めています。

また、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した市独自支援策については、物価高騰の影響を受けた市民生活等を支えるため、本定例会に事業費等に係る補正予算案を提出させていただいています。

次に、分野ごとの主要施策について申し上げます。

【分野別の主要施策】

「安全・安心」の分野でございますが、防災対策については、昨年度実施した防災アセスメント調査結果を踏まえた「四街道市地域防災計画」の改訂が四街道市防災会議において承認され、4月1日から施行されました。引き続き、市民の生命、身体及び財産を災害等から保護するため、各種対策を進めてまいります。また、6年度を開始年度とする新たな「四街道市国土強靱化地域計画」を5月に策定し、更に現在は、「四街道市国民保護計画」の修正作業を進めるなど危機管理体制の強化に努めています。

消防・救急については、大規模災害の発生に備え、組織全体の防災意識を高めるとともに、緊急消防援助隊等の受援活動が円滑に実施されるよう、受援体制の強化を図るため、訓練の進行やシナリオのない実践的な訓練であるブラインド型の受援訓練を5月に実施しました。

また、高齢者世帯の住宅火災による事故を防止するため、75歳以上の世帯に対し、住宅用火災警報器の給付及び取付支援を実施しています。

生活安全対策については、児童生徒の安全・安心な通学環境を整備するため、山梨11号線ほか1路線の通学路交通安全対策工事の発注準備を進めています。

都市基盤については、水道水を安定的に供給するため、大日地先ほか2か所の配水改善工事を実施し、老朽管の入替えを順次進めています。

排水対策については、大日緑ヶ丘68号線の道路排水施設整備の発注準備を進めています。

また、浸水対策事業では、四街道雨水幹線の溢水解消を図るため、四街道雨水2号幹線等の基本設計修正業務を発注しました。

「健康・福祉・子育て」の分野でございますが、高齢者福祉については、民間研究機関のJAGESとの連携で得たデータを基に、地域の現状や地域資源などについてまとめた「まちカルテ」を活用するとともに、フレイル予防教室を開催する準備を進めています。

障がい者福祉については、障がいのある方への支援施策を総合的かつ計画的に推進する「第5次障がい者基本計画」の策定に向け、障害者手帳所持者等4,500人を対象にアンケート調査を実施するための準備を進めています。

「教育・文化・スポーツ」の分野でございますが、学校教育については、市内小中学校に在籍する難聴児童生徒に係る支援を充実させるため、4月1日に八木原小学校に難聴通級指導教室「きこえの教室」を設置しました。これにより、これまで千葉県立千葉聾学校に通って指導を受けていた児童生徒の通室時間が大幅に短縮され、より充実した学校生活につながっています。

学校教育環境の整備については、南小学校区における児童の増加に対応するため、南小学校校舎の増築工事を進めています。また、学校建物の損耗、機能低下に対する復旧及び教育環境の改善を図るため、千代田中学校北校舎の改修に向け、仮設工事等に着手したところです。

芸術・文化については、建築後40年以上経過している文化センターの長寿命化工事並びに市民ギャラリー及び歴史民俗資料室を設置する大規模改修工事に係る設計業務委託を発注しました。今後は、文化とにぎわいの発信拠点を目指し、利便性が高く、より快適に過ごせる施設となるよう、市民参加条例に基づき、市民意見を伺いながら、設計業務を進めてまいります。

「くらし・環境」の分野でございますが、住環境の整備については、本市の都市計画に関する基本的な方針となる新たな「四街道市都市計画マスタープラ

ン」の策定に向け、地域別構想や実現に向けた基本的考え方などの検討を進めています。

また、地震による滑動崩落の発生が懸念される、市内の大規模盛土造成地について、国のガイドラインに基づいた簡易地盤調査等業務委託に係る契約手続を進めています。

道路網の整備については、安心して利用できる交通環境を整備するため、山梨物井線の道路改良工事及び和良比山梨2号線ほか1路線の舗装修繕工事の発注準備を進めています。

また、自転車利用環境の整備では、「四街道市自転車ネットワーク計画」及び「四街道市自転車活用推進計画」の策定に向け、四街道市自転車計画協議会を開催するなど策定作業を進めています。

ゼロカーボンについては、保健センターや福祉センターなど13公共施設におけるLED照明への切り替え作業が5月までに完了しました。今後は、7月までに文化センター・総合公園体育館など20施設を、10月までには小中学校など17施設の切り替え作業を進めてまいります。

また、気候変動適応法に基づき、熱中症対策を推進するため、クーリングシェルターとして利用できる公共施設を拡充したほか、店舗等の共有スペースを開放していただける事業者との協定締結に向け、準備を進めています。

「にぎわい・共創」の分野でございますが、農林業の振興については、市民と農業者との積極的な交流と地産地消の推進を図るため、子育て世代を対象とした全8回の市民親子農業収穫体験講座を4月から開催し、20組62名のご家族に農業を体験していただいています。

魅力の発信については、4月14日に四街道市PR大使の皆藤愛子さんが四街道警察署の一日警察署長に就任し、市内商業施設で交通ルールの順守を呼び掛けました。会場は多くの人で賑わい、交通安全はもとより、本市の話題作りや認知度向上に大きく寄与していただきました。

ダイバーシティについては、中学生を対象としたリバモア市との姉妹都市短期留学事業の5年ぶりの再開に向け、市内中学校や四街道市国際交流協会と連携を図りながら、ホストファミリー募集に向けた準備を進めています。

以上、これまでの施政の概要について申し上げます。

今後とも、市民一人ひとりの幸せを願い、笑顔と笑顔がつながり合う明るい四街道をみんなで創るため、市民目線を大切に、市政運営に全力を注ぎます。

議員各位におかれましては、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。ともに四街道を前に進めましょう。

令和6年6月3日

四街道市長 鈴木 陽介